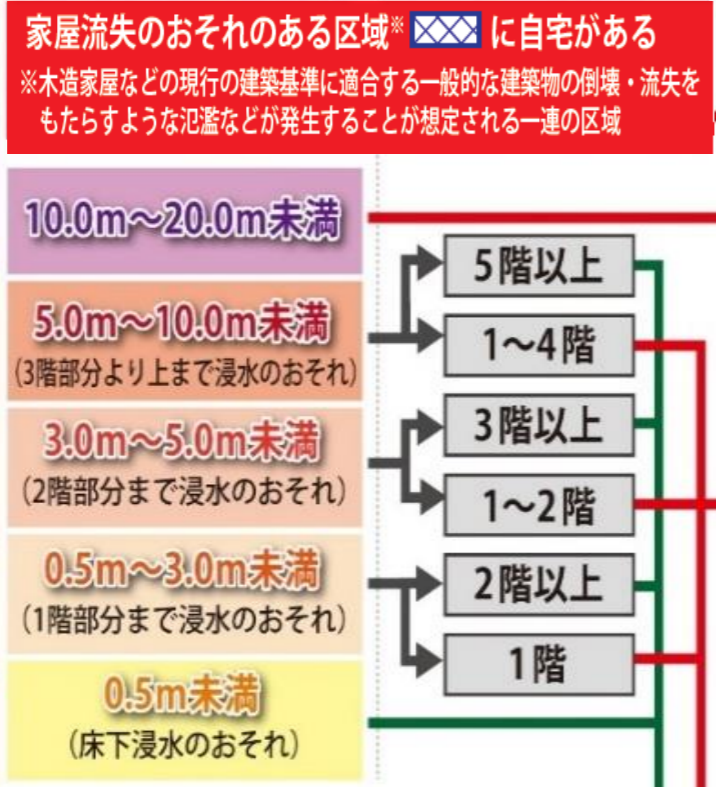
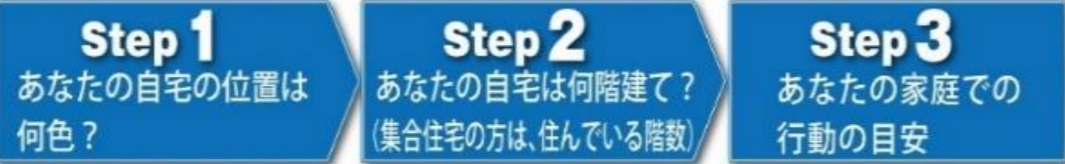


避難行動 判定フロー

スタート →



立ち退き避難

洪水や土砂災害時には、大変危険な状況になることが想定されます。災害発生前の早めの避難が必要です。

自宅に待機も可能

浸水しても水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分にある場合は、自宅の上層階など、浸水のおそれがない場所に待機することも可能です。

あなたの避難行動は？

①避難先を書きましょう。

②避難する**方法**を書きましょう。



表面の「地域の水害避難マップ」でご自宅などを確認し、上の図から大雨時にとるべき行動の目安を確認して、避難先や避難方法を記入しましょう。
 ※判定フローの内容はひとつの目安です。身の危険を感じたら、自分の判断で命を守る行動をとりましょう。